

# 平成30年度活動方針

## 愛媛県連盟スローガン

### 日々のスカウト活動を充実させよう

スカウトを育てる場の基本はそれぞれの隊（団）にあり、現場における日々のスカウト活動を充実させることが何よりも大切である。そこで今年度も「日々のスカウト活動を充実させる」ことを目標とし、加盟員全員でその実現に取り組む。日々の集会やキャンプを通し、「ちかいとおきて」「やくそくとさだめ」の実践により、自立したスカウトを育成する。成長したスカウトの姿そのものが団の活性化や加盟員の増加につながるの思いを共有し、すべての団で日々のスカウト活動が充実することを目指して、団・地区・県連盟それぞれの立場で諸活動を展開する。

まずは、各団において魅力あるプログラムを展開することで日々のスカウト活動を充実させ、新しい加盟員の獲得と同時に中途退団者を出さない努力をしてほしい。日々のスカウト活動充実のカギを握っているのはリーダーである。リーダーの資質の向上とともに新しいリーダーの獲得に団の総力を挙げて取り組むことを期待する。

次に、地区においては、各団の実態を把握し、地区委員長、地区コミッショナーを中心に各団への支援策をお願いしたい。特に日常の活動が困難な状態の団に対しては、地区訪問を通じて地区・県連盟合同で支援策を講じたい。

今年度はスカウト運動維持財団の助成を得て、各団や各地区が取り組む事業も積極的に支援していくこととする。

県連盟では、コミッショナー陣が各団、各地区の取組状況を把握し、適宜、支援や指導に当たる。各運営委員会においては、それぞれの委員会が所管する事項及び事業を計画的・主体的に実施する。その際、可能な限り数値目標を設定し、効果の確認をしながら事業を実施することとする。今年度はWB研修所スカウトコース中国・四国第3期の開設、県下3会場におけるボーイスカウト講習会と定型外訓練、ユースリーダー研修、さらにリーダーのための三坂野営場を活用したプログラム等を計画している。これまで以上にスカウト運動の魅力を発信できるリーダーの育成と資質の向上を目指した取り組みにしたい。

今年度は、8月に石川県珠洲市において4年に一度の第17回日本スカウトジャンボリー（17NSJ）が開催され、愛媛県連盟からは190名を派遣する。平素培ったスカウト訓練を基盤に、国内外のスカウト仲間との相互交流や冒険的で楽しい野外活動を通じて、活動的で自立したスカウトを育てる大会としたい。

また、31年度にはアメリカ合衆国において第24回世界スカウトジャンボリー（24WSJ）が開催される。今年度中に24WSJに向けた準備体制を整えることとする。

#### 《重点目標》

- 1 各団における日々のスカウト活動を充実する。
- 2 コミッショナー陣が県内の状況を把握し、スカウト及びリーダーへの教育指導を適切に行う。
- 3 各運営委員会が所管する事項及び事業を計画的、効果的に実施する。
- 4 17NSJへの派遣を通してスカウトの技量の向上及び指導者の資質の向上を図るとともに、各隊活動の充実につなげる。
- 5 24WSJの準備体制を確立する。